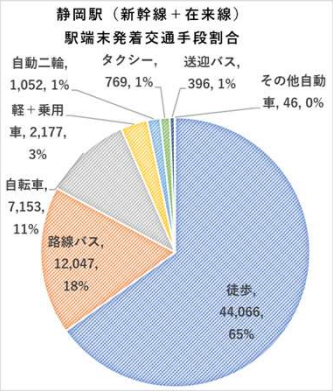
R5 10/6　静岡駅南口駅前広場再整備検討委員会(第１回のまとめ)

（事務局より）現状のまとめ

１．歩行者交通量調査



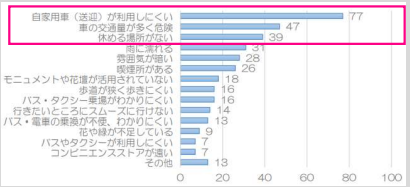
・鉄道利用者の約７割が徒歩により移動

・広場利用者の約８割の人が徒歩で駅とまちを往来
・デッキ下の道路を地上で横断する人はデッキ利用者より多い

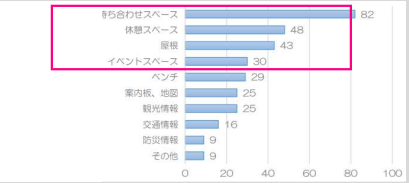
▲利用者の多くが徒歩により駅とまちを移動しており、空間整備を地上レベル及び歩行者優先で考える必要がある。

２．市民アンケート

○南口駅前広場の課題だと思うところについて、教えてください。（複数選択）



○南口駅前広場にあったら良いものを教えてください。（３つまで選択）



▲送迎のしやすさや安全性、待合せや休憩に使えるスペースが求められている。

３．南口駅前広場の現状と空間的課題

▲一般車の駐車方法や歩行者動線の輻輳等、安全性や快適性に課題がある。

委員意見

交通機能

視点①現状と課題

・一般車とバスの動線が分離できていない。
・雨の日は一般車が混雑していて危ない
・ロータリーの容量不足により、本来の一般車乗降場でない場所に停車されている。
・大型バスが停車できる場所がない。
・子供だけで、るくる等に遊びに行くとなると、車両交通の安全性が心配。
・週末の夕方になると停める場所がなくなって、一般車が周回しているような状況がある。
・バス・タクシー待ちの滞留スペースが狭い。
・車いすの乗降場はあるが、空間が狭く、急いで乗降しなければならない状況。
・ロータリー内にある横断歩道も安全性に疑問がある。
・一般車の駐車方法が守られていない。
・北口との交通分担も考慮する必要がある。

視点②空間のあり方　視点③空間の使い方

・自転車利用者のことも考える必要がある。
・北口との役割分担や新幹線口等、駅そのものの機能も含めて検討すべき。
・障がい者を含む利用者の多様性を考慮して駅前広場を考えてほしい。
・子供連れ、スーツケースを持った観光客が通行しづらいので、拡幅してほしい。
・石田街道の観光バスをどこに配置するか考える必要がある。

キーワードを視覚化

・公共交通利用者と歩行者ための**ゆとりあるスペースが必要**である。
・一般車と公共交通の両者が**使いやすいロータリーが必要**である。
・**多様な利用者に配慮した空間が必要**である。

広場機能

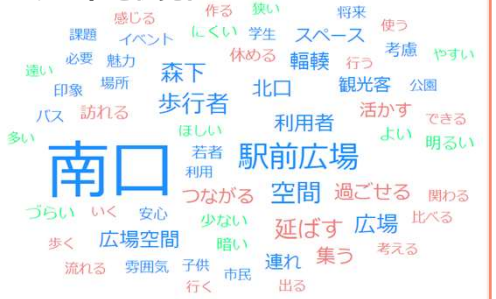
視点①現状と課題

・歩行者のための空間、人が集う場所がない。
・安心して滞在できるスペースや、イベントを開催するスペースがない。
・北口に比べて雰囲気が暗く、子供連れが安心して休憩できる空間がない。
・駅前広場でイベント等を行うようなコミュニティがない。
・駅南には北口に比して庶民的で魅力的な店舗が多いがまちと繋がっていない。
・若者が興味を持つコンテンツが南口に少ないので、そもそも行かない。学校や塾で利用する学生も多いので、活かされていない。
・南口に訪れにくい印象
・観光客等に森下公園等の魅力ある施設が伝わりにくい。

視点②空間のあり方　視点③空間の使い方

・子供連れが利用しやすいような空間があるとよい。
・森下公園等への玄関口となるとよい。
・駅から降りた際に静岡の下町らしさを感じられるような、明るい空間があるとよい。安心できる空間がほしい。
・喫煙所の配置を再考してほしい。
・ペデストリアンデッキの配置を工夫してほしい。
・静岡ガスのイベントがあった際に連携できる徒歩圏域（駅から半径500m）を意識したい。
・利用者同士の交流ができて目的となる広場がよい。
・将来を担う若者や子供を対象に使い方を考えたい。
・旭川駅のような、若者や学生の居場所が南口にあるとよい。学生にとってはお金を使わなくても過ごせるような、南口の雰囲気を活かした安心して過ごせるパブリックスペースがあるとよい。
・人口減少等の将来を見据えて車と人の共存を考える必要がある。

キーワードを視覚化



・歩行者の空間、南口が目的となるようなスペース、**人のための空間が必要**である。
・森下公園や駅南銀座、久能街道など、**魅力ある場所と駅前広場が徒歩で繋がる**よう、将来を見据えたまちとの相互作用を考える必要がある。

※キーワード抽出は、ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析（https://textmining.userlocal.jp/）
凡例　青色：名詞　赤色：動詞　緑色：形容詞・形容動詞
出現回数や重要度を加味して単語の大きさを決定

反映　　反映

静岡駅南口駅前広場再整備の方向性・コンセプト、機能、施設量の検討（R6 1/9 第２回検討委員会）